



OMI KYODAI SHA

信愛館だより

みよ、兄弟達が一つになって共に住むことは、(詩篇133の1)
なんといいあわせ、なんといい楽しさであろう

Vol. 148

2025年5月号

発行/ケアハウス信愛館
近江八幡市北之庄町492-2
TEL/0748-32-2220
FAX/0748-33-7555
<http://www.shinaikan.com>
Mail/vories@zb.ztv.ne.jp

「受けるよりは与える方が幸いである」

近江兄弟社地塩会 評議員

深見 祥弘(近江八幡教会牧師)

新緑の美しい季節を迎えました。神の恵みは、木々や草花のみならず、私たち一人ひとりにも豊かに与えられ、この命を輝かせてくださいます。

以前、春にイスラエルへ出かけました。イスラエル北部のガリラヤ湖周辺は、新緑や草花が美しく、湖では漁師が漁をして、そこには命あふれる光景が広がっていました。それに対してイスラエル南部の死海周辺は、周りの山々に木が生えず、また塩分濃度の高い死海には魚などの生き物は住まず、そこには荒涼とした死を思わせる光景が広がっていました。ガリラヤ湖は、周辺の野や山から水を集めて蓄え、ヨルダン川にその水を注ぎだしています。死海は、ヨルダン川の水が流れこみますが、その水を注ぎだす川はありません。

ガリラヤ湖は、別名「キンネレテの海」と呼ばれました。「キンネレテ」とは竖琴のことで、その形が似ているからです。琵琶湖が、琵琶に似ていることからそのように呼ばれるのと同じです。琵琶湖も、周辺の野や山から水を受け、それを蓄え、瀬田川から注ぎだします。「琵琶湖の水を止めたらか」という言葉がありますが、もしそうするならば、琵琶湖の水は澱み腐ってゆきます。水を受け、蓄え、注ぎ出すことで、私たちはこの地に命あふれる美しい光景を見ることができるのです。

私たちもまた、神や周りの人から恵みや助けをいただいています。私たちが感謝し、神と人のために祈りと奉仕をすることで、命を輝かせることができます。反対に神や周りの人からの恵みや支えを当然のこととし、もっともっとと求め続け、神に感謝することも人のために祈り奉仕することも忘れてしまうと、与えられている神の恵みや人の愛を腐らせてしまい、死がその人を支配するようになります。5月は、「受けるよりは与えるほうが幸いである」(聖書:使徒言行録20章35節)、この言葉に心を向けて過ごしましょう。

キリスト教 あいうえお(2巡目) — 「天使」

近江金田教会牧師 横田 明 典

某製菓会社の影響もあってか、天使というと、羽根のある子どもで、頭に輪っかがついているのを想像する人が多いかもしれません。

しかし天使とは、そもそも「天の使い」、「神様からの使者」のことで、すから、聖書に書かれている天使がその原型と言えるでしょう。天使は霊的な存在とされるので、羽根がなくても良いのですが、神様のところ

(天) から来るために、羽根があるはず、と人間が考えたのかもしれませんが。

聖書で有名なのは母マリアへの受胎告知の場面です。これをさまざまな人が描いていますが、そのほとんどに羽根があります。それで天使＝羽根のイメージが定着したのかもしれませんが。

受胎告知では「天使は、彼女のところに来て言った。『おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。』」(ルカ1:28)とあります。

神様が人間に何をなさろうとしているのか、それは本来人間には知られないことがほとんどですが、天使が特別に伝えることもあるようです。天使が現れなくても、神様のなされることを感じるものでありたいと思います。

ケアハウス信愛館の日常

◆ ひな人形飾り付け ◆



入居者の皆様と職員で協力しながらスムーズにひな人形を飾ることができました。





◆ 3階花壇より ◆
柔らかな春の日差しに誘われて、花壇の小さな花たちが顔を出しました。



◆ ひな人形めぐり (3月11日) ◆



外村 繁 邸
書物や細かい飾りが多く
見応えがありました。



東近江市五個荘
近江商人屋敷へひな
人形めぐりにいってき
ました

中江 準五郎 邸
色々な時代の人形や
玩具が飾られていま
した。



◆梅林ツアー（3月14日）◆

梅の花を楽しみに、
いなべ市農業公園と 鈴
鹿の森庭園へ
行ってきました。



◆梅林ツアー（3月18日）◆



編集後記



陽射しが日に日に強さを増し、半袖で過ごす日も多くなってまいりました。いよいよ夏本番が近づいています。熱中症や食中毒といった夏特有の体調不良を防ぐため、水分補給や食事管理など日ごろからの対策を心がけましょう。私たち職員一同も入居者の皆様が安心して健やかに過ごせるよう、より一層努力してまいります。

(感謝)